

# 2024年度 第1四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	有機EL材料(輸送材料、発光材料、表面保護材料)、バイオ材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	先端材料	カラーフィルター用染料、近赤外吸収材料、有機太陽電池材料
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬・農業資材	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

## 第1四半期

単位: 百万円  
表示: 百万円未満切捨

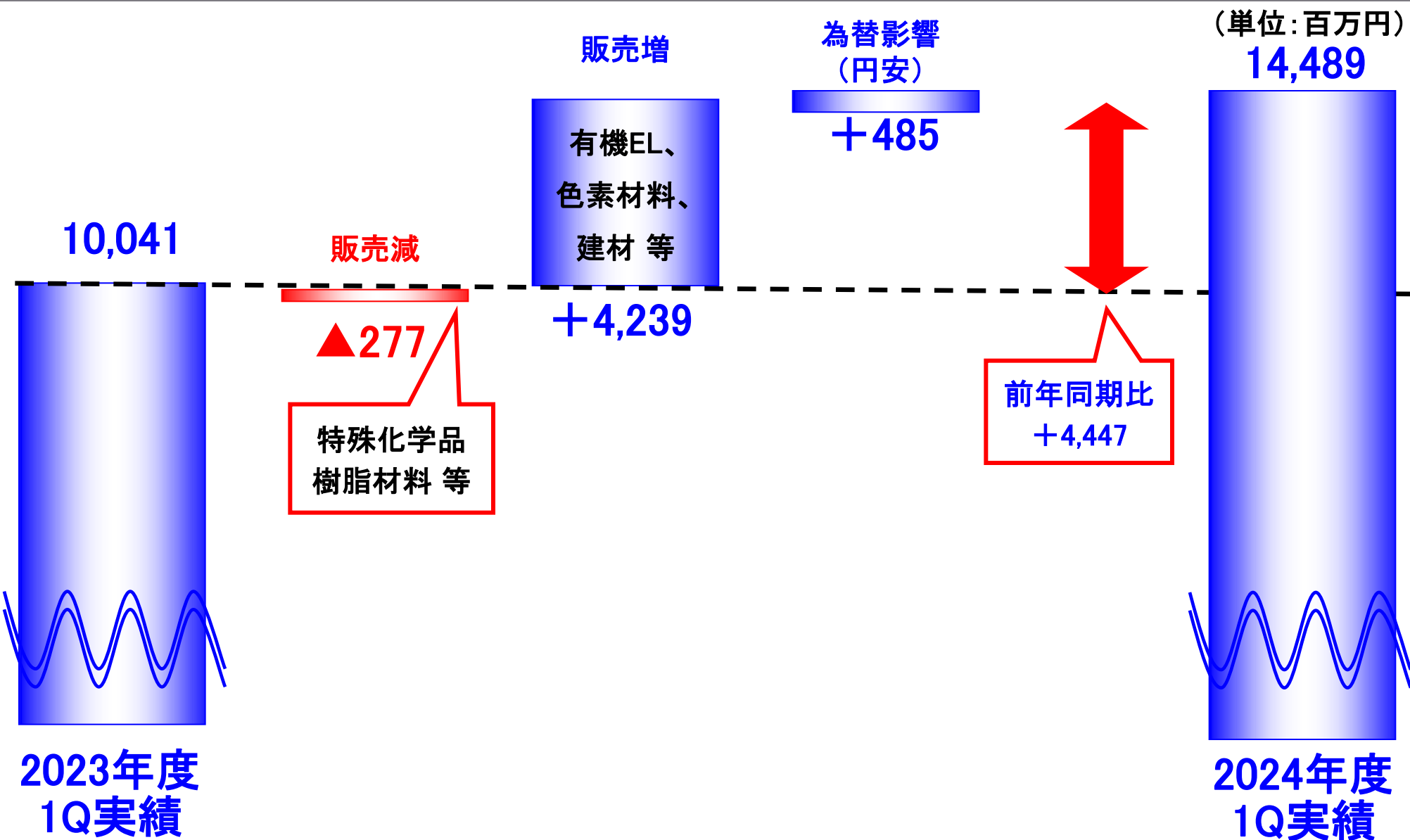
連 結	2023年度	2024年度	前年同期比
売 上 高	10,041	14,489	+ 4,447
営 業 利 益	337	2,842	+ 2,505
経 常 利 益	768	3,218	+ 2,449
親会社株主に帰属する 当期純利益	369	1,708	+ 1,338

為替レート

\$=139.63円  
W=0.1053円

\$=158.27円  
W=0.1146円

\$=ドル  
W=韓国ウォン



- ・ **売上高**は、特に機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が拡大したことにより、4,447百万円の**増収**
- ・ **営業利益**は、主に有機EL材料の販売拡大により、2,505百万円の**増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の増加により、2,449百万円の**増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の増加により、1,338百万円の**増益**

(単位:億円)

科目	2024年 3月末	2024年 6月末	増 減
(流動資産)	386	398	+11
現預金	129	136	+6
売上債権	122	118	▲3
棚卸資産	126	131	+4
その他	8	11	+3
(固定資産)	424	444	+19
有形・無形 固定資産	292	306	+14
投資有価証券	108	111	+2
その他	23	25	+2
合計	811	842	+30

科目	2024年 3月末	2024年 6月末	増 減
(負債)	237	234	▲2
仕入債務	51	49	▲2
有利子負債	93	91	▲1
その他	91	93	+1
(純資産)	574	607	+32
資本金	111	111	-
資本剰余金	79	79	-
利益剰余金	206	220	+14
その他	176	195	+18
合計	811	842	+30

第1四半期

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

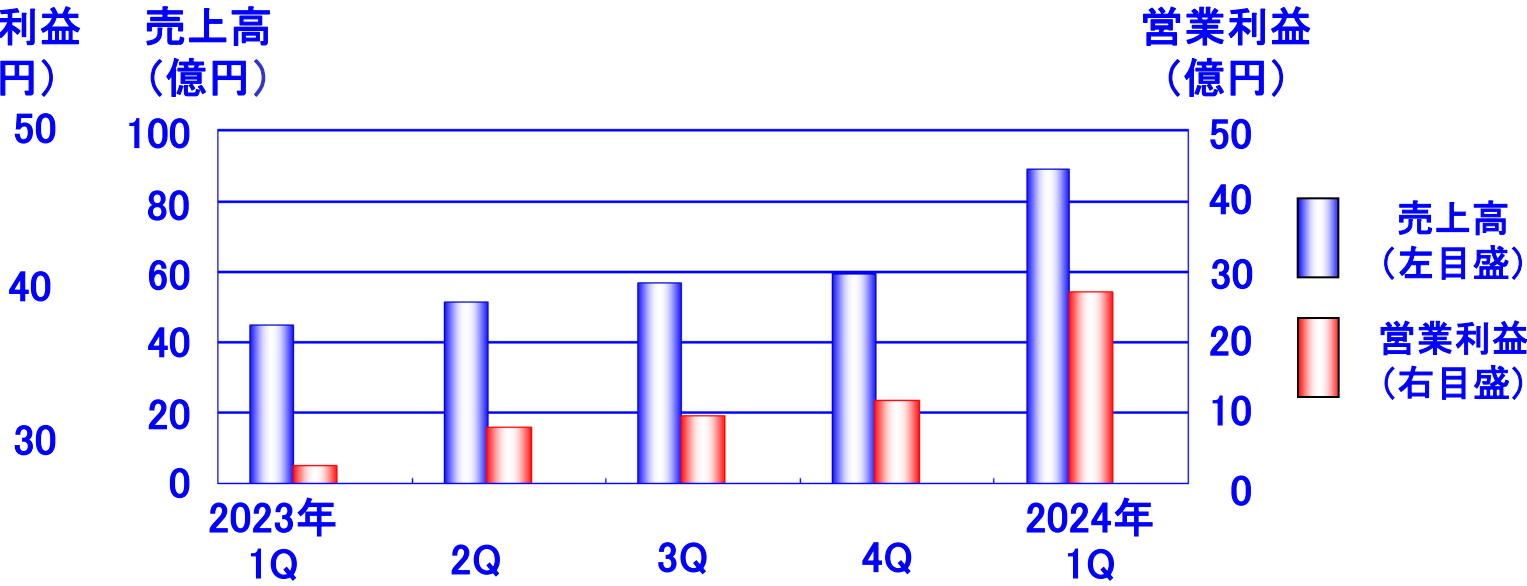
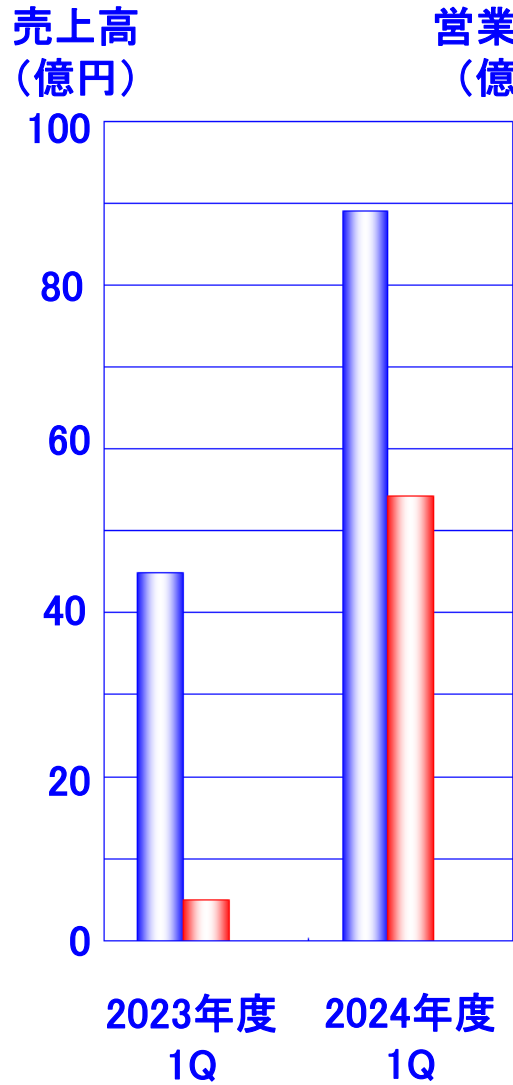
セグメント	2023年度	2024年度	前年同期比
機能性色素	4,487	8,909	+ 4,421
機能性樹脂	1,962	1,948	▲ 13
基礎化学品	1,871	1,821	▲ 49
アグロサイエンス	1,292	1,297	+ 5
物流関連	388	477	+ 88
その他	39	34	▲ 5
合計	10,041	14,489	+ 4,447

第1四半期

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

セグメント	2023年度	2024年度	前年同期比
機能性色素	250	2,716	+ 2,465
機能性樹脂	▲ 43	▲ 47	▲ 3
基礎化学品	16	83	+ 66
アグロサイエンス	66	▲ 1	▲ 68
物流関連	47	90	+ 43
その他	0	▲ 0	▲ 0
合計	337	2,842	+ 2,505





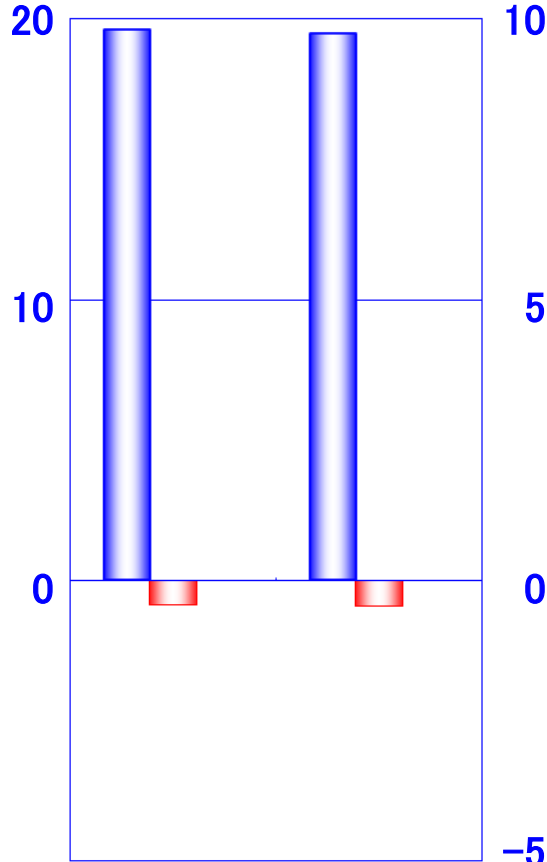
有機EL材料	・スマートフォン向けに加えタブレット端末向けの需要が伸長し大幅な増収	↗
色素材料	・天然色素は、食品業界での需要減少を受けて減収となったが、アルミ着色用染料の需要がスマートフォンやその他汎用品向けを中心に大幅に増加し、全体としては大幅な増収	↗
イメージング材料	・プリンター向け材料の需要が海外を中心に回復し、大幅な増収	↗

売上高  
(億円)

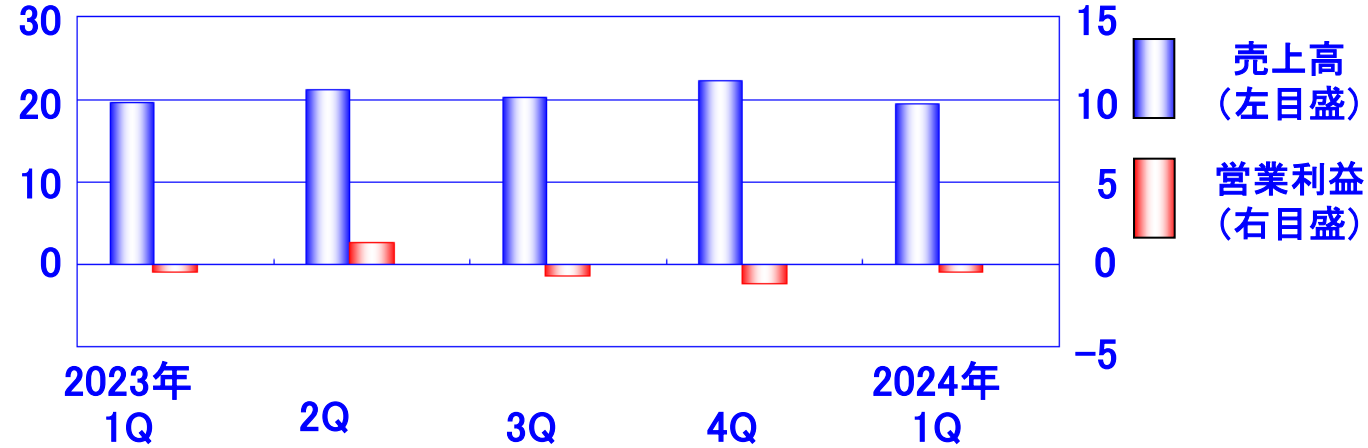
営業利益  
(億円)

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)

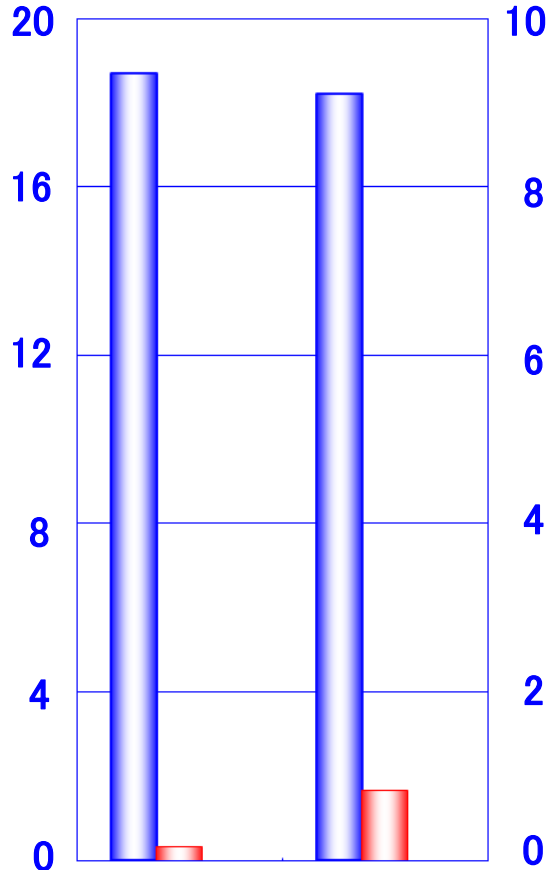


2023年度 1Q      2024年度 1Q



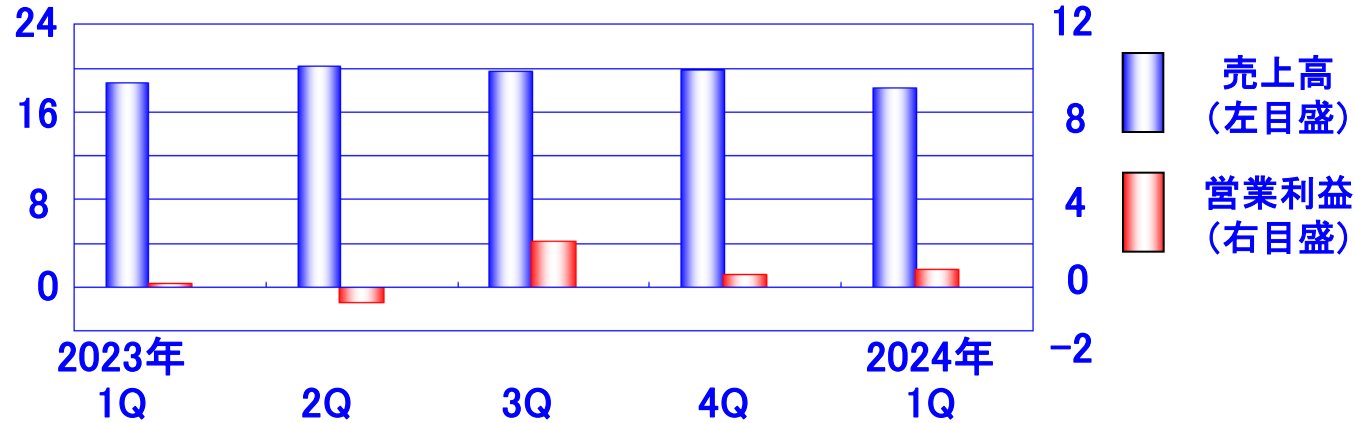
樹脂材料	・海外向けを主とするウレタン材料の在庫調整の影響を受け、大幅な減収	↓
特殊化学品	・剥離材向け需要が海外を中心に増加したが、医薬向けでの需要減少により、大幅な減収	↓
建築材料	・大型商業施設の駐車場等におけるウレタン防水工事の受注により大幅な増収	↑

売上高  
(億円)      営業利益  
(億円)



2023年度 1Q      2024年度 1Q

売上高  
(億円)      営業利益  
(億円)

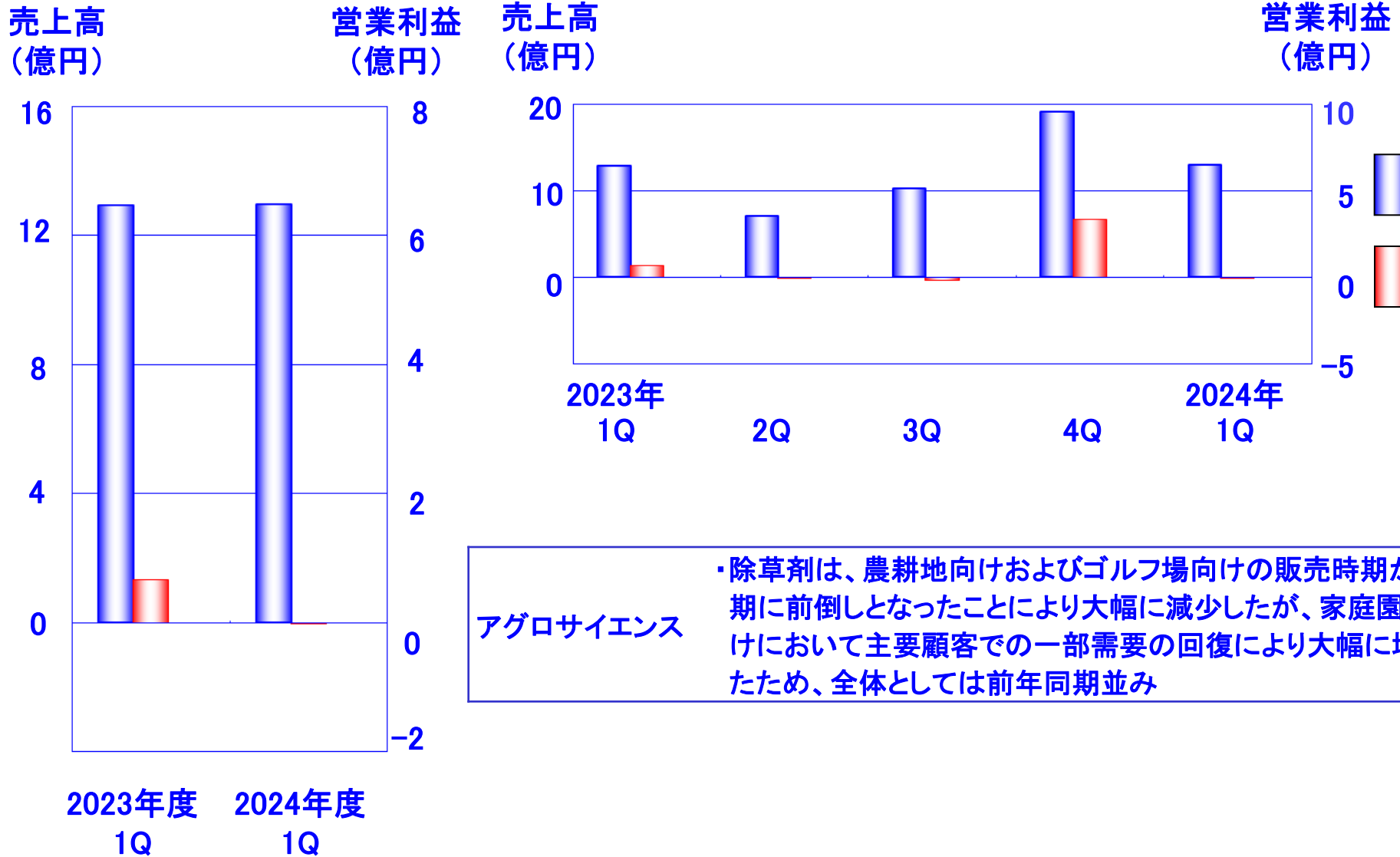


過酸化水素  
及び  
誘導品(※)

過炭酸ナトリウムが漂白剤向けの需要減少や  
主要顧客での生産調整影響等により、大幅な減収



※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

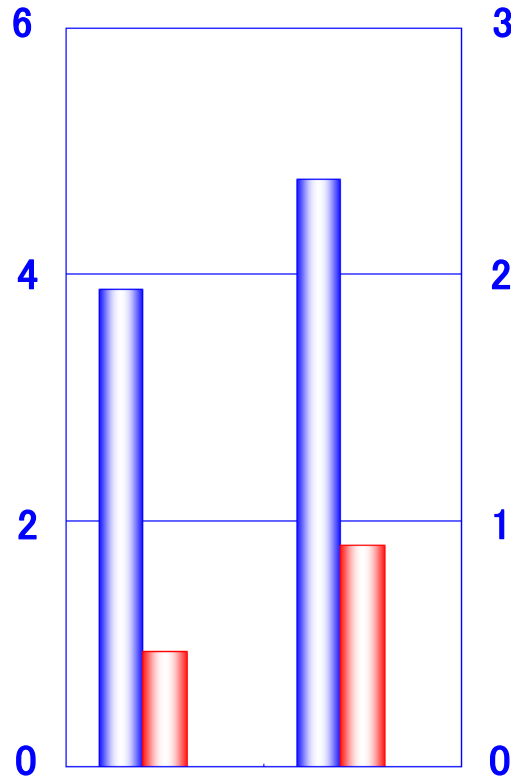
- 除草剤は、農耕地向けおよびゴルフ場向けの販売時期が前期に前倒しとなったことにより大幅に減少したが、家庭園芸向けにおいて主要顧客での一部需要の回復により大幅に増加したため、全体としては前年同期並み

売上高  
(億円)

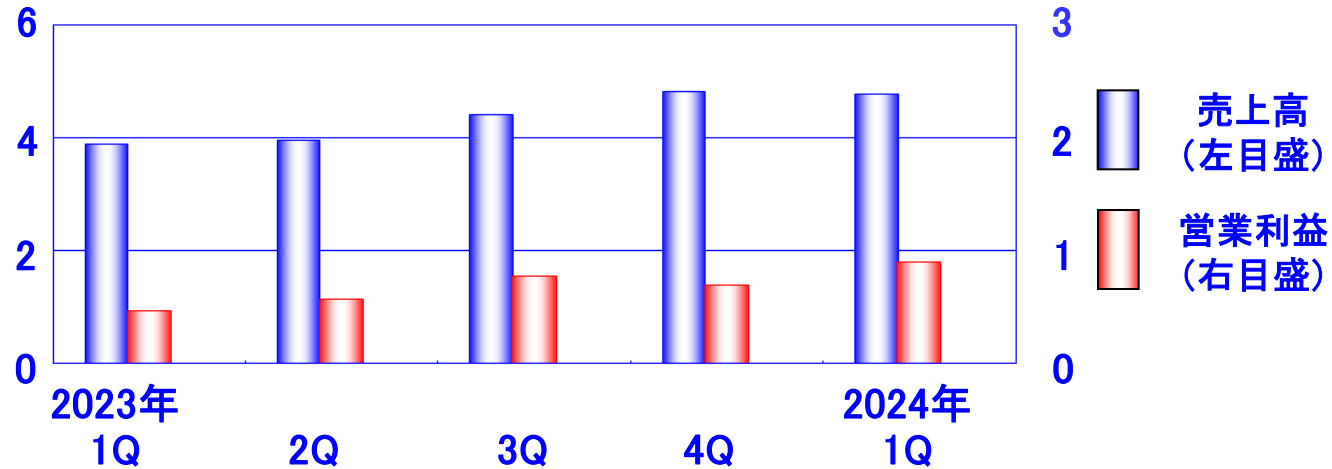
営業利益  
(億円)

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



2023年度 1Q      2024年度 1Q



物 流 関 連      ・輸出および国内向け物流事業ともに需要が回復し、  
大幅な増収

(単位:百万円)

科目	業績予想 (5月15日時点)	2024年度 第1四半期実績	進捗率
売上高	48,000	14,489	30.2%
営業利益	4,500	2,842	63.2%
経常利益	4,800	3,218	67.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,700	1,708	63.3%

当第1四半期の営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、期初に公表した業績予想に対して、想定を上回る進捗率となっております。機能性色素セグメントにおける有機EL材料の販売が大きく伸長したことが主な要因ですが、第2四半期以降の需要動向及び金融市場動向に不透明感があり、現時点では期初公表の業績予想を据え置きます。第2四半期以降、修正の必要性が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。